

二百年の  
時空を超えて

伊能忠敬翁没後200年記念事業

特別展

# シーボルト家の地図

平成30年4月24日(火)～6月24日(日)

「ニッポン」を、  
世界に開いた男。



*Siebold's Maps in the Brandenstein Castle*

企画展

第1回

伊能忠敬が見た星々

平成30年7月31日(火)～9月24日(月・祝)

第2回

伊能忠敬の協力者たち

平成30年12月4日(火)～平成31年1月20日(日)

## 伊能忠敬記念館

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ 1722-1  
電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649

[www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/](http://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/)

\*画像資料(シーボルト肖像・日本図・ブランデンシュタイン城・伊能図西日本写)所蔵 ドイツ シュリュヒテルン、コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン氏  
Constantin von Brandenstein, Schlüchtern, Germany \*日本図中の赤文字「Katori」は編集で着色



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

## 特別展

# シーボルト家の地図

平成30年 4月24日(火)～6月24日(日)

伊能忠敬が作製した日本地図をヨーロッパに伝えたのはシーボルト(1796～1866年)でした。シーボルトは、ドイツのヴュルツブルクに生まれ、オランダの医師として日本の長崎に赴任し、多くの学術的貢献をしました。不幸にも、帰国の際、幕府天文方高橋景保から日本地図などを受け取ったため拘禁され国外追放となり、景保をはじめとする日本人の関係者も処罰されました(シーボルト事件)。しかし、幕末にはオランダの外交顧問として再び日本を訪れ、日蘭交流に尽力しました。

シーボルトの子孫の家には、彼の日本滞在中の業績にかかわる各種の地図や文書が多く残されています。今回の展示では、ドイツ在住のご子孫であるブランデンシュタイン氏から、これらの資料の中から伊能忠敬の地図とかかわりの深い地図を借用して公開します。

当時、忠敬とシーボルトは対面することはありませんでしたが、地図を媒介として交流していたことになります。この特別展を契機に忠敬の業績の世界とのつながりを実感していただきたいと思います。



伊能図西日本写

## 企画展

### 第1回 伊能忠敬が見た星々

平成30年7月31日(火)～9月24日(月・祝)

忠敬が作った日本地図の正確さは丹念な地上測量によるものだけではありませんでした。

日本地図を世界地図の中に位置づけるためには、緯度と経度の測定が不可欠でした。経度の測定には日食と月食の観測が必要であり、緯度の測定には北極星の高度を測らなければなりませんでした。

しかし、忠敬が測った星々は、太陽、月、北極星にとどまらず、その他の多くの星々を観測しています。忠敬が観測した星にはどんなものがあり、なぜ、その様な星々の観測が必要だったのでしょうか。その答えを今回の展示で紹介します。

また本展示は、国宝に指定された忠敬の測量器具類を1年に1度、一堂のもとに公開する好評の企画展でもあります。



北極高度測記

忠敬が緯度測定のために観測した星々が記録されています。

### 第2回 伊能忠敬の協力者たち

平成30年12月4日(火)～平成31年1月20日(日)

伊能忠敬の日本地図作製は忠敬一人の力によるものではありませんでした。

測量事業を幕府の上層部へ橋渡しをしてくれた忠敬の上司、同僚と弟子からなる忠敬測量隊員から、全国の藩・町・村の役人、学問の同志まで、その協力者は広く深く分布していました。

忠敬の全国測量と日本地図作製は、杉田玄白らの『解体新書』の出版と並び称されますが、後者が一握りの天才たちの努力により完成したのに対し、前者はもっと広く、当時の日本全国の人々の協力によって成り立っていたのです。

本展示では、忠敬を協力した人々の事績を紹介するとともに、協力の実態を示す各地から提出された絵図などを展示し、無名の人々についても紹介します。



西土井村参考絵図

現地の村役人が忠敬測量隊に提出した絵図で、忠敬たちの測量の参考資料として使われました。

展示ガイドツアー●係員がご来館の皆様と共に館内を回りながら、常設展示の解説を行います。日時：土曜・日曜・祝日(休館日を除く)午後2時15分～(25分程度)

開館時間 午前9時～午後4時30分(午後4時頃までに入館してください)  
休館日 毎週月曜日(国民の祝日、5月28日、6月4日・11日・18日、8月13日は除く)、12月29日～1月1日

入館料 大人500円(450円)/小・中学生250円(200円)  
※( )内は15人以上の団体料金  
※65歳以上の人は450円(証明できるものをご提示ください)

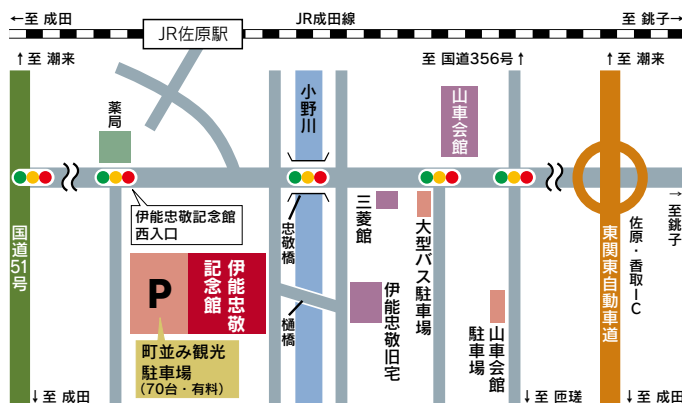
交通案内  
【自動車】東関東自動車道「佐原・香取インターチェンジ」から15分  
国道51号線 通称山之辺交差点から5分

【電車】JR佐原駅下車、徒歩10分

# 伊能忠敬記念館

〒287-0003  
千葉県香取市佐原イ 1722-1  
電話 0478-54-1118  
FAX 0478-54-3649

[www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/](http://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/)



※バスは、大型バス駐車場または山車会館駐車場に駐車してください。  
町並み観光駐車場は普通車のみ駐車できます。